

HTML の基礎

Web のページを作るには、HTML (Hyper Text Markup Language) で記述された 文書を用意する必要があります。HTML 形式の文書を作成するには、HTML に対応しているワープロを利用したり最近のワードであれば利用できます、HTML 編集専用ソフト (オーサリングツール) を利用する方法がありますが、今回は基本的事項を押さえるため、「メモ帳」を用いながら HTML の概要について解説します。

HTML では、文書の構造を「タグ」を埋め込むことで指定していきます。

- タグは、`<タグ>` という形式で表現され、ブラウザで見た場合に画面上には現れない。
- タグに大文字小文字の区別はない。
(`<HTML>` と `<Html>` と `<html>` はどれも同じ。)
- タグはいわゆる半角文字でなければならないことに注意。
まちがいである全角の例：`<HTML>`
- 文書中の改行位置は意味を持たない。
(明示的に改行したいときは、`
` などを利用する。)
- 特別な意味を与える部分は `<タグ名>` と `</タグ名>` ではさむのが基本。例：

文の中で特定の文字を `強調` したいとき。

- とじ側の `</タグ名>` が省略できるものもある (`</p>` など)
- 未知のタグは単に無視されるだけなので、スペルミスには十分注意すること。
- 文書中で特別の意味を持つ記号 `<`、`>`、`&` は `<`、`>`、`&` と書く。

基本的なタグ

- `<html> </html>`
文書全体を囲む(省略可能)
- `<head> </head>`
文書表示の際に必要な制御情報等を指定する(省略可能)
- `<title> </title>`
`<head> </head>` の内側において、タイトルバーに表示するタイトルを指定する(省略可能)
- `<body> </body>`
文書の内容部分全体を囲む(省略可能)

以上のタグの関係をまとめると次のようになる。

```
<html>
  <head>
    <title>
      タイトル
    </title>
  </head>
  <body>
    本文
  </body>
</html>
```

`<body>` タグでは、`<body text="white" bgcolor="black">` のようにオプションが指定できる。

色指定のオプションはこの他に、link, vlink, alink もある。色指定には、red, green, blue 等の色を示す一般的な単語が利用できるが、#FFEEEDというような感じでRGBの各色の強さを示す値を指定することもできる(このページの背景色)。各色の強さは00~FFまでの2桁の16進数で表現し(大きな値ほど明るい)、赤緑青の順に並べる。例:

```
#FF0000 - 赤
#00FF00 - 緑
#0000FF - 青
#FFFF00 - 黄
#00FFFF - シアン
#FF00FF - マゼンタ
```

- `<h1>` `</h1>`
章、節などのタイトルを指定する。サイズは h1 から h6 までの6段階ある。単にサイズの違いで区別されているだけであり、章、節間の並立関係(論理的な構造)を規定しているわけではない。
- `<p>` `</p>`
段落の単位を指示する。閉じ側の`</p>`は省略可能なので、通常は段落の開始となる部分に記述する。
段落の先頭を一文字下げたいときがあるが、そのための決まった方法はない。全角のスペースを入れておくか、` `を適当な数だけ並べる、といった方法がある。
- `
`
改行を入れる。
- `<hr>`
区切りの横線

を入れる。size=5 や width=10% などのオプションもある。

- `<i>` `</i>`
囲まれた部分を *italic* にする。
- `` ``
囲まれた部分を **bold** にする。
- `` ``
italic や **bold** を明示的に指定せず、自動的に選ばせる。「強調」。
- `` ``
部分的に、`` 文字色``や `` サイズ``を変更する。
- `` `` ``
箇条書き形式で項目を列挙する。
`<blockquote>`

```
<ul>
<li>日曜日は市場に買物
<li>月曜日は風呂たき
<li>火曜日は入浴
</ul>
```

```
</blockquote>
```

行頭記号を変更することもできる。``の代わりに``にすると数字つきになる。

- `<blockquote>` `</blockquote>`
字下げ引用する(直前の項目の例を参照)。
- `<center>` `</center>`
文字を行の中央にセンタリングする。
画面中央にセンタリング
古いブラウザだと対応していないかもしれない。

- ` ` 他のページへのリンクを張る。

` 京都大学 `

とじ " を忘れないように注意。

- ``

``

とじ " を忘れないように注意。

- `<pre> </pre>`
整形済テキストを引用する(改行の位置は保存される)。
- `<table> </table>`
表をつくる。

```
<table border=1 align=center>
<tr><td> </td><td>い</td><td>ろ</td><td>は</td></tr>
<tr><td>A</td><td>1</td><td>23</td><td>456</td></tr>
<tr><td>B</td><td>7890</td><td>12</td><td>3</td></tr>
<tr><td>C</td><td align=right>45</td><td>678</td><td>90</td></tr>
</table>
```

	い	ろ	は
A	1	23	456
B	7890	12	3
C	45	678	90

`border=1` を省略すると枠の線が見えなくなる。
`align=` を使って場所を調整することができる。

さらに詳しい HTML の書き方に関しては、サーチエンジンを用いて HTML、タグ等で検索すると、様々なページが見つかるでしょう。各自で探してみてください。

HTMLの規格の詳細や今後については、[W3C](#)が参考になるでしょう。

演習

- 「メモ帳」を起動して、自分で HTML を書いてみる。
 - 内容は何でも構わないが、特に何もなければ、末尾の「例題」を用いると良い。
 - 「名前をつけて保存」する。(ファイル名は例えば mypage.htm)
 - ファイルの拡張子は必ず .htm にする。
 - 演習の中で使って良いタグの種類に制限は設けない。
できるだけ多くの種類のタグを利用してHTMLを体感すること。
- 書けた HTML をブラウザで確認する。
 - ブラウザのメニューの「開く」から。
あるいは
 - ドラッグアンドドロップでブラウザへ。
- HTML の解説ページを検索エンジンで探してみる。
- 書けた HTML はレポートとして提出する。提出方法は後述。
- ワードを利用し、保存の時にHTMLを指定してファイルに保存してワードが生成するHTMLの内容を確認してみる。

例題: 次の文章を HTML 形式に直しなさい。

マルチメディアと著作権（サイズ、センタリング）

近年のマルチメディア技術の発達によって、従来の紙・文字媒体を中心として機能してきた著作権法の整備が必要になっている。たとえば、コンピュータプログラムの著作権法による保護については以下のいずれが正しい見解であろうか？

- ・コンピュータプログラムは、技術的に優れているものでなければ「プログラムの著作物」として保護されない。
- ・コンピュータプログラムを作成するための言語である「C」や「FORTRAN」の言語文法は、「言語の著作物」として保護される。
- ・アルゴリズムは、著作物ではないので保護されない。

また、インターネットのホームページの著作権については以下のいずれが正しい見解であろうか？

- ・ホームページが著作物に該当する場合は、インターネット上でも現行著作権法で保護される。
- ・インターネット上の著作権については、現行規定がないのでホームページは保護の対象にならない。
- ・インターネットのホームページは、すべて著作物ではないので保護されない。

これらの問題に答えるためには、著作権法の根本に立ち返って考えてゆく必要がある。

レポートの提出方法

- レポートの提出先の電子メールアドレスは次のとおり。

jhg-report@media.kyoto-u.ac.jp (これまでと同じ)

- 電子メールでHTML形式のファイルを送る場合は、添付形式でも、本文中に直接HTMLが記述されていても構わない。ファイルを添付する場合は、必ずこれまでに説明してきたテキスト形式のファイルを添付すること。（ファイル名もこれまでと同様に半角英数字にする。）なお、複数のファイルが添付されていた場合は、その中の一つだけが採用される。
- 他のアドレスに送られたレポートは評価の対象とはならない。
- 提出されたレポートは、自動的に以下のURLの場所に掲示される。

<http://quena.media.kyoto-u.ac.jp/jhg/4/>

- レポートの再提出に制限はない。何度でも改良を重ねて構わない。再提出の回数が多いと減点になる、ということもない。
- レポートには、HTML形式で以下の情報を含めること。
 - 氏名
 - 学部/回生/学生番号
 - メールアドレス
(学術情報メディアセンターでの電子メールアドレス)
 - レポートの題名
(作成した内容から適当と思われる題名をつける)
- 参考にしたURLはレポート中に示す。ただし、HTMLのリンクにしてもよいかどうかは、参照先のページの方針等に従うこと（もし指示があれば）。
- 提出締め切りは6月26日20:00とする。